

## プレス発表資料

平成26年11月13日  
独立行政法人 防災科学技術研究所

### 公開シンポジウム「防災情報利活用システムの開発と社会への展開 －システム開発者、導入支援事業者と考える－」を開催

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、2014年12月3日（水）、ベルサール八重洲にて、公開シンポジウム「防災情報利活用システムの開発と社会への展開－システム開発者、導入支援事業者と考える－」を開催いたします。

当研究所の社会防災システム研究領域では、地域住民や自治体等を対象に地域防災の実践手法に関する研究開発を行っております。今回のシンポジウムでは、これからの防災情報利活用システムが備えるべき技術や機能、導入・普及のための方策などについて、当研究所が開発したシステムのデモンストレーションを交えながら意見交換を行います。

システムインテグレーター、企業コンサルタント、システム導入や導入支援を行っている方々、また技術的側面より純粋にオープンソースプログラムの開発にご興味がある開発者の方々のご来場をお待ちしております。

<http://risk.ecom-plat.jp/hp/141203sympo/>

1. 内容：別紙資料による。
2. 本件配布先：文部科学記者会，科学記者会，筑波研究学園都市記者会

#### 【内容に関するお問い合わせ】

独立行政法人防災科学技術研究所  
社会防災システム研究領域  
災害リスク研究ユニット  
臼田、田口、伊勢、半田  
電話：029-863-7553

#### 【連絡先】

独立行政法人防災科学技術研究所  
アウトリーチグループ  
大石、三好  
電話：029-863-7784  
FAX：029-851-1622

## 公開シンポジウム「防災情報利活用システムの開発と社会への展開 ーシステム開発者、導入支援事業者と考えるー」を開催

### 1. シンポジウム開催趣旨

独立行政法人防災科学技術研究所（理事長：岡田義光）は、2014年12月3日（水）、ベルサール八重洲にて、公開シンポジウム「防災情報利活用システムの開発と社会への展開ーシステム開発者、導入支援事業者と考えるー」を開催いたします。

当研究所の社会防災システム研究領域では、地域住民や自治体等を対象に地域防災の実践手法に関する研究開発を行っております。今回のシンポジウムでは、これからの防災情報利活用システムが備えるべき技術や機能、導入・普及のための方策などについて、当研究所が開発したシステムのデモンストレーションを交えながら意見交換を行います。

システムインテグレーター、企業コンサルタント、システム導入や導入支援を行っている方々、また技術的側面より純粋にオープンソースプログラムの開発にご興味がある開発者の方々のご来場をお待ちしております。

### 2. 開催概要

【名称】	防災情報利活用システムの開発と社会への展開 ーシステム開発者、導入支援事業者と考えるー
【主催】	独立行政法人 防災科学技術研究所
【日時】	2014年12月3日(水) 13:00~16:00 (途中退出自由)
【会場】	ベルサール八重洲 ROOM2+3 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル 2F
【参加費】	無料
【対象】	システム開発者、システムインテグレーター、企業コンサルタント システム導入支援者など
【定員】	先着 100 名 ※事前申し込みなしでの参加は可能ですが、配布資料をお渡しできない場合があります。
プログラム	13:00~13:15 防災情報利活用システムに関する研究成果とその全体像 13:15~15:55 防災情報利活用システムの意見交換および技術相談会

### 3. シンポジウム関連 web サイト

参加申し込みおよびお問い合わせは、以下のサイトにて受け付けております。

<http://risk.ecom-plat.jp/hp/141203sympo/>

### 4. プログラム詳細

当研究所が研究開発を行っている防災情報利活用システムの研究成果と全体像を紹介した後、それぞれの利活用システムに分かれて、今後備えるべき技術や機能、導入・普及のための方策などについて、デモンストレーションを交えながら意見交換を実施したいと考えております。

防災情報利活用システムに関する研究成果とその全体像 13:00～13:15

プロジェクトディレクター 臼田 裕一郎

防災情報利活用システムの意見交換および技術相談会 13:15～15:55

#### Aブロック 自治体向け利活用システム

担当：伊勢 正・磯野 猛

市町村等自治体が災害時に各種災害情報を取得し、関係機関と情報共有しながら協調・連携した災害対応を行う利活用システムについて、官民協働危機管理クラウドシステムの紹介を交えながら意見交換を行います。

#### Bブロック 地域住民向け利活用システム

担当：田口 仁・半田 信之

地域コミュニティが情報発信・連携・共有を通じて地域防災活動を実践できる利活用システムについて、当研究所が開発した e コミュニティ・プラットフォームや、それらを活用した事例である「防災コンテスト」と「地域防災キット」を紹介しながら意見交換を行います。

#### Cブロック 社会福祉協議会向け利活用システム

担当：李 泰榮・水井 良暢 他

平時の要援護者の見守りから、災害時の被災者支援まで、社会福祉協議会を中心に自治体や様々な支援団体が包括的かつ効果的に共有・管理する利活用システムについて、当研究所が開発した「見守り情報管理システム」を紹介しながら意見交換を行います。

## 【会場へのアクセス】

ベルサール八重洲 ROOM2+3

所在地：東京都中央区八重洲 1-3-7 八重洲ファーストフィナンシャルビル 2F

アクセス：「日本橋駅」 A7 出口 直結（東西線・銀座線・浅草線）

「東京駅」 八重洲北口 徒歩3分（JR線・丸ノ内線）

公式ウェブサイト：[http://www.bellesalle.co.jp/room/bs\\_yaesu/access.html](http://www.bellesalle.co.jp/room/bs_yaesu/access.html)



※ベルサール八重洲 HP より引用

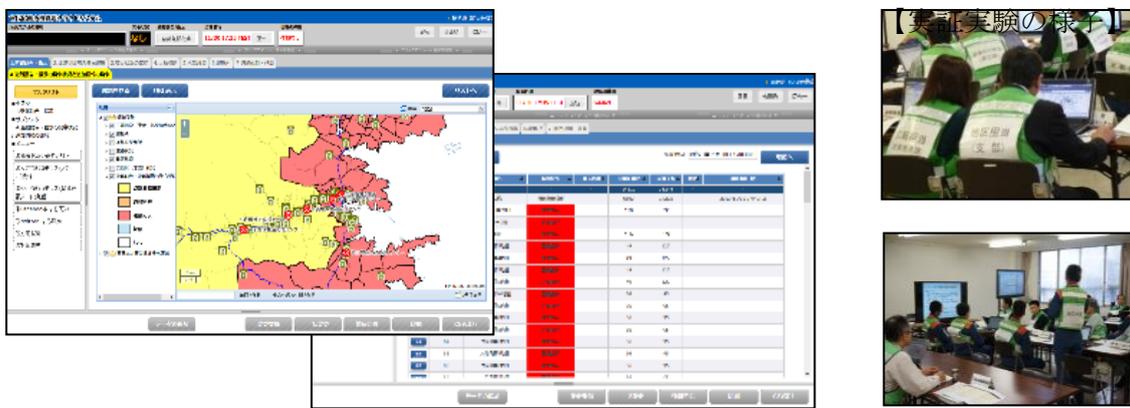
## 当研究所が開発している防災情報利活用システム

当研究所の社会防災システム研究領域では、地域住民や自治体等を対象に地域防災の実践手法に関する研究開発を行っており、その一環として、様々な組織や団体の地域防災の実践を支援する防災情報利活用システムを開発しております。

### 1. 自治体向け利活用システム（官民協働危機管理クラウドシステム）

市町村等自治体が災害時に各種災害情報を取得し、関係機関と情報共有しながら協調・連携した災害対応を行うことを目的とした情報システムを開発しています。

【官民協働危機管理クラウドシステム】



官民協働危機管理クラウドシステム公式サイト <http://ecom-plat.jp/k-cloud/>

### 2. 地域住民向け利活用システム

#### (1) 自治会・住民向けWEB CMS システム（e コミグループウェア）

ブログ、掲示板、RSS、問い合わせフォームなどの機能により地域コミュニティの情報発信・連携・共有を通じて地域防災活動を支援することを目的に、CMSを開発しています。

【e コミ流山】



【こみゅっと藤沢（藤沢市民電子会議室）】



## (2) 自治会・住民向けWEB-GIS (e コミマップ)

外部の様々な地図を下敷きにしながら、参加型の地図作成や印刷機能等を使って、地域コミュニティ等の防災マップの作成支援をすることを目的として、Web-GIS を開発しています。



【e コミマップで作成した防災マップ】

## 3. 社会福祉協議会向け利活用システム (見守り情報管理システム)

平時の要援護者の見守り情報から災害時の被災者情報まで、社会福祉協議会を中心に自治体や様々な支援団体が包括的かつ効果的に共有・管理することを目的に情報システムを開発しています。



【見守り管理システム】

<メニュー>

<情報管理>

e コミマップ・e コミグループウェア・見守り情報管理システム  
e コミュニティ・プラットフォーム公式サイト <http://ecom-plat.jp/>